

平成22年度 12月補正予算のあらまし

補正予算額(一般会計) 5億5,089万6千円

【主な事業】

1. 産 業

(1) 和倉温泉まちづくり事業……2億1,200万円

- ① マリンスポーツ施設整備に係る用地取得および測量調査ほか
- ② 観光交流施設モニユメントの設置

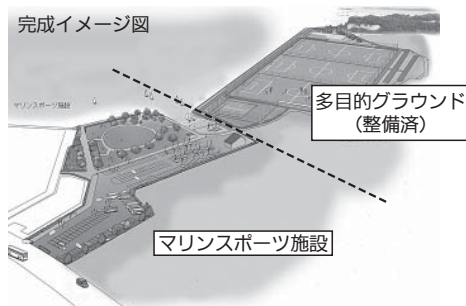


なぜ必要なの？

平成22年9月に完成した「和倉温泉多目的グラウンド」を積極的に活用し、和倉温泉や能登島など市内への入り込み客数の増加を図ります。

新たな施策として七尾市の魅力である「海」を生かした親水空間を整備し、滞在型交流の拡大に取り組みます。具体的には、多目的グラウンドに隣接する県有地を取得し、一体的な散策路として整備するとともに、ヨット競技などのマリンスポーツに必要な斜路・艇置場などの施設整備を行います。

また、平成24年度に開催予定の全国高等学校総合体育大会「ヨット競技」会場として受け入れ、和倉温泉の魅力を全国に発信し、誘客促進と温泉街の賑わいを創出します。



(2) 七尾港改修事業負担金……3,093万9千円

矢田新地区耐震強化岸壁の整備ほか

(3) 地域力創造アドバイザー事業……36万4千円

能登島の魅力づくりとしてすすめている観光型体験農園を実現するため、「地域人材ネット」に登録されている専門家を招へい。

(4) 観光施設管理運営……254万2千円

能登島交流市場周辺の機能拡充に向けた全体構想調査ほか



なぜ必要なの？

将来の交流人口拡大と定住促進につなげるため、交流市場周辺の能登島ガラス工房などと連携した方策や課題について検討してきましたが、今後は施設周辺の機能拡充に向けた全体構想調査に取り組み、具体的な体験・滞在型交流の促進を図ります。



2. 教 育

(1) 香島中学校大規模改造事業……2,222万9千円

既存プール解体工事



なぜ必要なの？

北エリアの中学校再編に向けて、香島中学校校舎の大規模改修などに取り組んでおり、平成23年度に建設する予定の第2体育館の建設場所を確保するため、既存プールの解体工事を行います。

(2) 小学校施設耐震化対策事業……961万6千円

北星小学校、田鶴浜小学校などの耐震補強と改修工事のための実施設計



3. 生活環境・都市基盤

台風9号災害復旧事業……1,893万4千円

平成22年9月に発生した台風9号による災害復旧費 農地2件・農業用施設3件・道路1件の補助災害復旧費など

広がれ！市民のわ

フレッシュさん

このコーナーでは、まちのフレッシュさんをリレー方式で紹介します。高城さんは前回の石田さんの紹介です。



高城 絵梨さん
(22歳・能登島佐波町)

「保育士になるのが夢だったので今は毎日が楽しい」。そう話す高城さんは、浜岡保育園(石崎町)の保育士として2年目を迎えている。中学・高校の職場体験で夢をふくらませ、高校卒業時には進路を一本に絞った。

「1年間クラスを持つと園児の成長がじかに感じられ、園児との信頼関係が生まれる。行事の準備は大変ですが、家族の方に喜んでもらえるとうれしい」とやりがいを感じている。

一方で「病気をしたりケガをしたりしたときには自分に責任がかかるので」と厳しさも十分心得ている。

休日は金沢へショッピングに出かけるという高城さん。「子どもが好きなので、今は仕事が一番好きだし、一番楽しい」。その瞳はキラキラと輝いていた。

出身地 栃木県岩舟町



プライベートの栗原さん



仕事中の栗原さん

このコーナーでは、県外から市内へ転入された方の声を紹介します。



栗原 智章さん
(30歳・鶴浦町)

この町に来たきっかけを聞くと「金沢市で大学生活をスタートし、大学院、博士課程まで学問に励んだが、この不況で専門分野の就職が無くなった。不安を感じながら就職活動をしていたが、ふっと漁師になりたいと思いつき、すぐさま石川県漁連に電話。そこで紹介されたのが今のところ(鹿渡島定置)」と話す。

工学分野で博士課程まで追及し続け、将来は研究者にと思っていたが、不況のあおりに遭い、「一転漁師の世界へ。」「厳しい冬の漁を乗り越え、漁師として歩むことに自信がついた。今は末練もなく早く一人前の漁師になりたい」と希望を募らせる。

また、栗原さんには風変わりな一面がある。それは、仕事中は作業着。それ以外は常に和服。ジーンズなどは持っていないく、スーツが1着あるだけ。和服を着始めて5年。ちまたでは和服姿で自転車に乗る栗原さんが有名になっているらしい。「七尾の皆さん和服姿の私に会ったら、声を掛けてください」と第2のふるさと七尾を和服姿で「Enjoy」する栗原さんが印象的だった。